

巻頭インタビュー

芦原温泉駅西口賑わい施設アフレアの建築と照明

2024年3月の北陸新幹線の延伸開業を前に、新幹線停車駅が設置される福井県北部にある芦原温泉駅の西口に賑わい施設アフレアが、2023年4月にオープン。その建築と照明について、(株)木下設計の木下 貴之様と片山 雅哉様にお話を伺いました。



株式会社 木下設計
代表取締役社長
木下 貴之 様



株式会社 木下設計
設計部課長
片山 雅哉 様

■ 巻頭インタビュー

- 2 芦原温泉駅西口賑わい施設アフレアの建築と照明

株式会社 木下設計
代表取締役社長
木下 貴之 様

株式会社 木下設計
設計部課長
片山 雅哉 様

特集 公共施設の照明

■ 施設例

- 6 飯塚市総合体育館
8 糸島市運動公園 屋外照明
10 四日市市文化会館 第1ホール・第2ホール

■ ライティングシーン施設例

- 12 トヨタモビリティ東京
14 D-ROOM大和 (YAMATO)
15 郡山ビューホテルアネックス
16 スポーツクラブルネサンス 熊本光の森24
18 D-LIFEPLACE札幌



薄暮時の外観 新幹線の新駅を背景にアフレア広場を正面から望む。

地下からあふれ出る源泉と和心による、賑わいを創出する森の広場。

—はじめにアフレアの建築目的または施設コンセプトをお聞かせください。

木下 アフレアはプロポーザル方式の案件で、北陸新幹線の開業を機に西口に駅前広場を作りたいというあわら市からの話でスタートしました。芦原温泉駅は福井県の北の玄関口になりますから、観光客を迎え入れる施設として、来訪者にあわら市らしさ、福井らしさを発見し興味を持ってもらうというのが一点。もう一点は多目的に利用でき、賑わいを生み出すことで地元で元気を与えられること。この2点を目的とした提案をし、「人があふれ、賑わいがあふれ、幸せがあふれる」をコンセプトにしたあふれる源泉と大黒柱による「森の広場」を作りました。—アフレアにはどのような機能があるのでしょうか。

片山 待合、交流、賑わいなどの機能は1階の「アフレア広場」と「アフレアホール」に持たせています。マーケットやイベントなど多目的に利用できる駅前広場ですね。北陸の冬の厳しさもあり広場とホールに分けていますが意匠的には一体的につなげています。飲食や物販機能はホールの隣にお土産売場と飲食スペース、観光案内所としてホール奥に「おしえる座あ」を設けています。2階には情報発信を担う魅力体感施設「ふくいミゅ〜ジウム」があり、3階には駅改札口につながる自由通路が通っています。

—建築設計で意図したことは何でしょうか。

木下 建物の造形が人の印象に強く残り、地域に強く結びつき、賑わいが生まれる、ランドマーク性を追求しました。単純に鉄の柱と屋根があるのではなく、そこに個性があって、その場を象徴するような造形です。具体的には、温泉らしく地下からあふれる源泉をモチーフとした柱とそ



アフレア広場の演出照明 あふれる源泉をモチーフにした写真中央の大黒柱と左側の柱にフルカラーLED演出照明システム①②を採用。



アフレア広場の軒天 ぼんぼりの明かりのような温かみを感じさせる照明演出。



アフレアホールの天井 シームレスなつながりを意識した照明設計。

こから緩やかにつながり一体となった軒天など、温泉や水の流れの元気が出るイメージを表現できたらと考え、立体的かつ流線型の力強い造形を作りました。また、木材を積極的に活用したいと考えました。山と森に囲まれた自然豊かな地域なので。あわら市からも地産材使用の要望がありました。

—アフレア広場およびアフレアホールの木の造形についてお聞かせください。

片山 最終的に使用した木材の約8割をあわら市産で調達していますが、柱は木を使って3次元的に見えるよう設計しましたので、加工には大変苦労しました。大黒柱をはじめ、広場の柱は上部にいくほど広がり天井とつながっています。この部分の木材の曲げ加工と接続部の仕口の納め方に、岐阜県の業者の力を借りて、モックアップ製作から実物大での組み上げなど時間をかけて検証しました。軒天については広場

とホールはもともと一体で考えていましたので、シームレスに感じられるように作り、広がりを見せたいと思いました。外の流れを中に持ち込みたい、人の流れも持ち込みたい、そういう思いもありました。和心を感じられるよう格子状に組んでいます。

—その他、注目すべき構造、意匠がございましたらお教えてください。

木下 いろいろありますが、広場の外縁部に吊り下げたガラススクリーンも見ていただきたいですね。冬の雨、雪、強い風の対策として必要でしたが、軒天の木の広がり外からも見えるように、できるだけ存在を意識させないようガラスコマ工法というシーリングの手法を使ってサッシの枠が見えにくいようにしています。

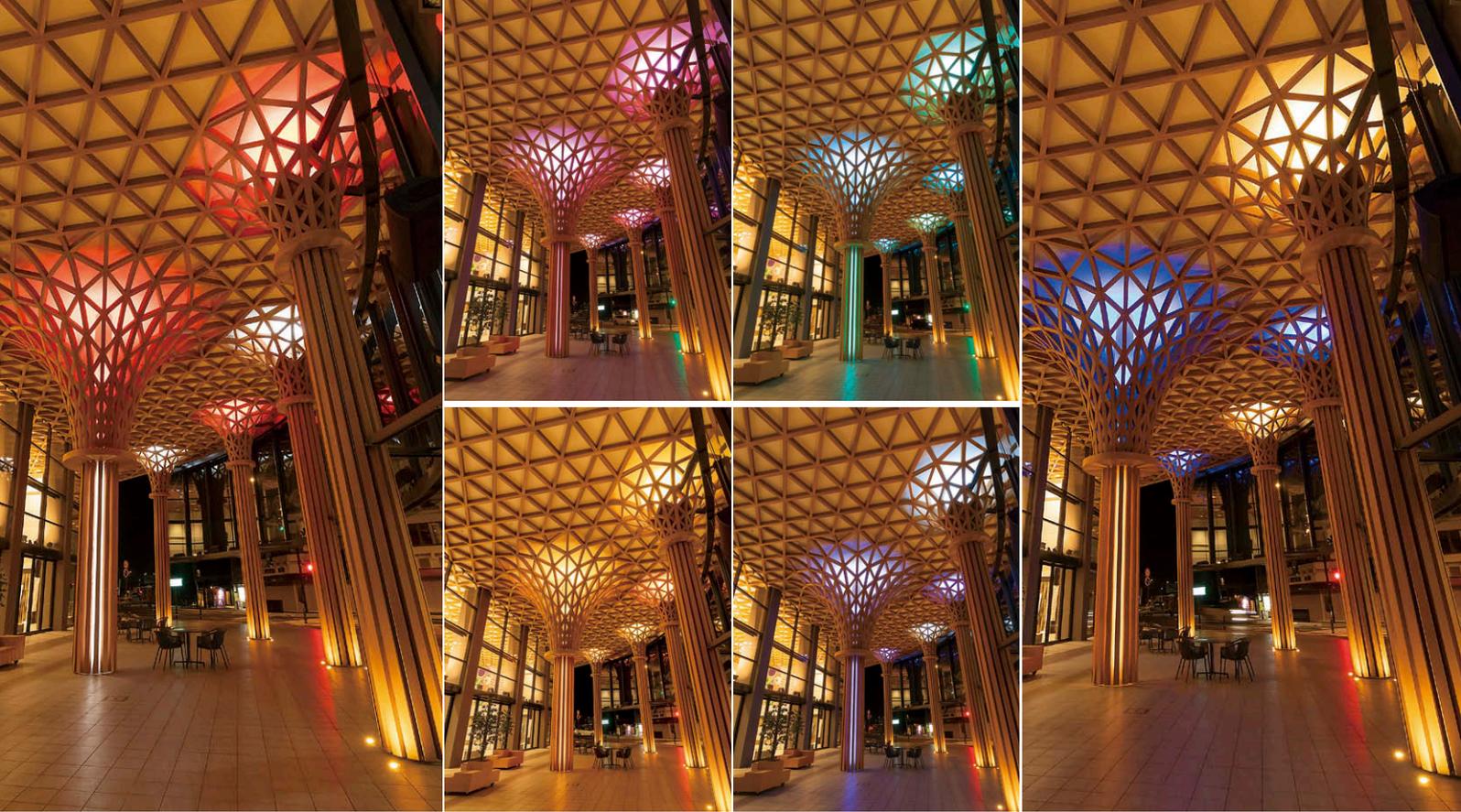
片山 このスクリーンは外側の5本の柱の上部から伸ばした鉄製のアームで固定していますが、そのアームは構造計算をして一本一本位置や

角度を変えながら格子の間隙から伸ばしています。その調整がとても大変でしたが、格子を切ることなく生かしたままできたのでよかったです。

ぼんぼりのような優しい明かりをイメージさせる暖色系の照明設計。

—施設全体での照明で意図したことをお聞かせください。

木下 光源を見せない間接照明の趣ある優しい光の多用を考えました。全体的な照明に関しては建築やインテリアの魅力を引き出すことや機能的な面も求めましたが、それ以前に賑わいの創出につながる人の存在を感じられるような明かりというものを求めました。まわりに明かりの少ない地方都市では明かりイコール人の温かみですから、こうした施設ではあまり使われませんが、優しい明るさを意識して暖色系をベースにしています。



フルカラーLED演出照明風景 柱上部からColorBurst IntelliHue Powercore gen3 ①により天井面を美しく演出。大黒柱の幹にはColorRibbon Diffuser RGB/RGBW②を採用し、大黒柱以外の柱はLED地中埋込形投光器③によりライトアップ。写真は左上が「正月」、中上4点「春」「夏」「秋」「冬」、右上「北陸新幹線カラー」、下段左から「ハロウィン」「クリスマス」「あわら市カラー」「アフレアカラー」「赤提灯」のそれぞれのプログラム風景。

片山 その優しい光を際立たせるためには余計な光を抑えないといけなかった。特に広場の方はぼんぼり照明と柱を照らすアップライト以外はつけていませんし、ホール照明も明るくなり過ぎないように配慮しています。一屋外のアフレア広場にライトアップ照明を導入した経緯をお聞かせください。

木下 アフレア広場のライトアップについては、日没後に到着する新幹線もありますので、プロポーザルのときに柱の上部をぼやっと光らせるぼんぼりのような照明を提案しましたが、あわら市からはもっと目立つようにやってくれと言われました。なんなら東京スカイツリーみたいと。我々も元気を与えられる照明を考えた時、固定された照明ではなく、色の変化があったほうが照明の存在に目がいきますし、そこで暮らす人々にも日常の変化を楽しんでいただけたらと思いました。そこでフルカラーLED演出照明にいきつきました。

一屋内のアフレアホールの照明設計ではどのような点に留意しましたか。

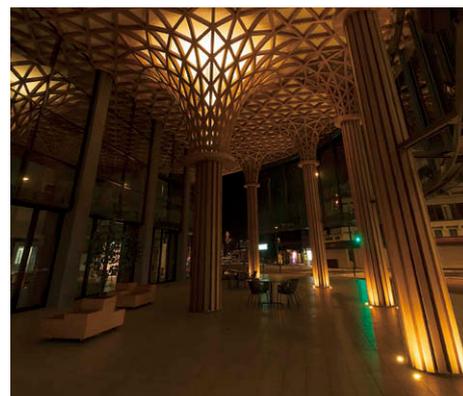
片山 アフレアホールのベース照明には温白色のダウンライトを採用し、和紙の障子をモチーフとした壁面をユニバーサルダウンライトで照らしています。ホールはイベントなどで利用されますから、その都度照明の仕方や照度を変えられるよう細かくグループ分けしています。また、広場とホールを仕切るガラスウォールの梁上には投光器を設置して、天井の格子を見せるように上を向けています。広場側のライトアップされた軒天とつながるホール天井をシームレスに見せるための工夫です。

計16パターンのフルカラーLED照明演出プログラムを設定。

一ライトアップ照明の演出プログラムはどのように運用しているのでしょうか。

片山 プログラムは電球色プログラムを基本

に、季節の色やイベント用など、テーマ別に全部で16種類のプログラムを設定しています。通年で16:30から22:00まで点灯し、毎時00分、15分、30分、45分から5分間テーマ別のプログラムを実行し、間の10分間は電球色の点灯としています。22:00以降は常夜灯として24:00に完全消灯します。照明演出の内容は、電球色と温白色の



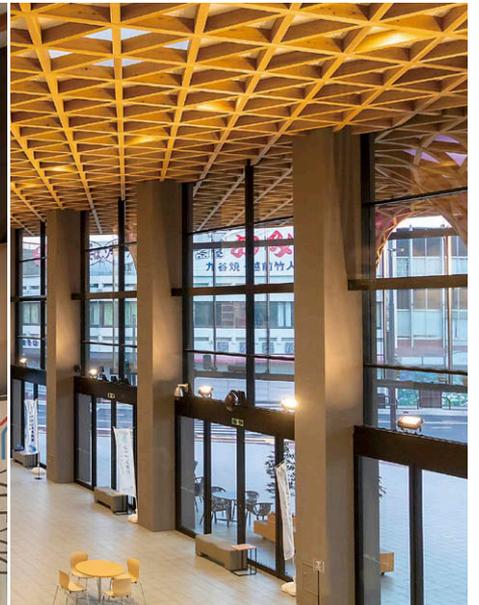
常夜灯プログラム時のアフレア広場。

福井県の北の玄関口として位置付けられる北陸新幹線の芦原温泉駅。その西口に新幹線の開業に1年先立ちオープンしたのが賑わい施設「アフレア」です。観光客に対してはあわら市および福井県内地域の魅力を伝える情報発信拠点として、地域住民に対しては人が集まる賑わいのスペースとして新設。各種イベントなども盛んに催され、地域コミュニティの中心地として新たな賑わいが創生されています。



【物件概要】

所在地：福井県あわら市春宮1丁目12-18
敷地面積：1,749.60㎡
建築面積：1,441.36㎡
延床面積：1,948.47㎡
構造・規模：鉄骨造、地上3階建
施主：あわら市
設計：(株)木下設計
施工：建築／三越建設工業(株)、角谷木材建設(株)、
電気／(株)三和商会あわら支店、山田電気商会、
(仮称)芦原温泉駅西口賑わい施設電気工事 特定建設工事JV
竣工：2023年3月



アフレアホールの照明 格子意匠の天井にはLEDダウンライト④を14台、壁面に沿ってLEDユニバーサルダウンライト⑤を20台配置。天井が暗く見えないようガラスウォールの梁上から10台のLED小形投光器⑥が天井を照射。

設定は我々側で希望しましたが、その他はあわら市からの要望でプログラムを組んでいます。

木下 これだけのバリエーションを設定できるのは本当にありがたかったですね。もともと我々は自然下にある色がよいと思っていましたが、見る人の立場ではやはり白が黄色に変化してもあまり驚きはありません。白から青、白から緑といったように色味に差があれば、より喜んでもらえるのかなと思いました。お施主様もやはり色検討はイメージがしやすいのか、この演出プログラムを決める際には、みなさんが参加され熱心に検討していただきました。このときは一緒に作っていくチームの一体感を感じました。

一照明器具の設置で苦労した点はございますか。

片山 ぼんぼりをイメージさせる照明のぼやとした感じを出すのに神経を使いましたね。照らされた軒天に明暗の境界を生じさせずキレイにボケていくようにしたかったので。実際には事

前にシミュレーションを重ねて灯具の数や配置を決めて、器具設置後も現場で角度の微調整などを行い、時間をかけて作り上げました。

あわらに来てよかった、あわらに住んでいてよかったと思ってほしい。

一竣工から半年以上が経ちましたが、地元や利用者の評価はいかがですか。

木下 アフレアは実際に、お祭りや演奏会、スポーツイベント、特産果実の販売など、毎週のようにイベントが催されていて、駅前はかなり賑わいが生まれまっています。夏までの4カ月で21万人の出入があったと聞いています。新幹線の開業前でこの数字ですから、すごいですよね。あわら市でもSNS発信などかなり積極的にアピールしているようですし、我々としては満足していただけていると思っています。

一新幹線開業後への期待をお聞かせください。

木下 観光客は増えると思いますから、新幹線の駅としては金沢駅の鼓門のように、芦原温泉

駅には大黒柱があると思い出に残してもらえるとよいですね。ちょっとおこがましいとは思いますが。賑わい施設という意味では、いっそうイベントが充実して、地元の人々が笑顔で楽しんでもらえたら、ただただ嬉しい限りです。

一今日は貴重なお話を聞かせていただきありがとうございました。

(2023年10月4日 取材)



ホールの照明器具
左上/
LEDダウンライト④
右上/LEDユニバーサル
ダウンライト⑤
左下/
LED小形投光器⑥

主な掲載器具一覧					
設置場所	器具名 (品種名)	形名	台数		備考
屋外	① ColorBurst IntelliHue Powercore gen3	BSTP-HUE-SV-01	29	消費電力：32W	
	② ColorRibbon Diffuser RGB/RGBW	AX-RBN-D-RGBW-28-01	5	消費電力：15W	
屋内	③ LED地中埋込形投光器	LEDS-03601LW-LS1	20	消費電力：5.9W	
	④ LED一体形ダウンライト9000シリーズ一般形中角タイプφ150	LEDD-95013FWW-LD9	14	消費電力：81.0W	
	⑤ LED一体形ユニバーサルダウンライト2000シリーズ高効率タイプ広角タイプφ125	LEDD-20033WW	20	消費電力：20.7W	
	⑥ LED小形投光器 重耐塩形 広角タイプルーバー	BVP431_130WWWB+ZL-SI-BVP431	10	消費電力：102.2W(100V) 101.0W(200V) 99.9W(242V)	